

11. お手入れ・メンテナンス

- フレームのお手入れの際は絶対に水などで洗うことが無いようにしてください。各部の汚れは固く絞った布等で拭き取ってください。
- スリングベルトやセンターシート、サイドカバー、メッシュカバーなどを洗濯する時は中性洗剤を使用し、洗濯ネットに入れるなどして生地を傷めにくい方法で洗ってください。
- 各種パッド類のカバーは脱着できますので、中のウレタンを外した状態で洗濯してください
- スリングベルトは長く使用していると、伸びたりマジックテープが効かなくなったりすることがあります。このような症状がみられた場合にはすみやかに交換してください。
- 調整や修理などについては取り扱い業者に相談してください。

サイズ寸法表

サイズ	背高さ	腋下高さ	骨盤幅目安	取付フレーム背幅	最小寸法	重量	耐荷重
M	40~48cm	29~38cm	18~34cm	34~44cm	H42×W33×D19cm	3.5kg	50kg
L	46~56cm	34~45cm	20~36cm	38~46cm	H48×W38×D22cm	4.0kg	50kg
LL	52~62cm	42~51cm	24~41cm	40~50cm	H54×W40×D26cm	4.5kg	50kg

(※ フレームへの取付高さやフレーム幅によって多少の誤差があります)

取扱業者・連絡先

製造・発売元 風の郷工房株式会社

〒992-0334
山形県東置賜郡高畠町大字一本柳 2535-1
TEL 0238-52-1446

スリーディービーエス

風の郷 3DBS 取扱説明書

三次元バックサポートシステム

R6年 4月改訂

目次

1. 製品の特徴
2. ご使用上の注意事項
3. 製品構成と各部の名称
4. 3DBSの部品一覧
5. 部品の特徴と組み立て方法
 - 角度調節金具
 - 角度固定スライド金具
 - 各部サポート金具
 - 幅調節金具
6. システム全体の組み立て方法
7. フレームへの取り付け
 - ハンガー部分がある場合
 - ハンガー部分が無い場合
8. フレームを選択する際に注意すること
9. フレームサイズとサポート金具の選び方
 - 身体に高度の変形がない場合
 - 身体に高度の変形がある場合
10. 3DBSの調整方法
11. お手入れ・メンテナンス



1. 製品の特徴

- 「風の郷3DBS」は三次元のバックサポートシステムです
- 三次元の設定を可能とするサポート金具とスリングシートの組み合わせによりトータルコンタクトの強固な支持性と通気性を提供します
- 各サポート金具は高さ、幅、角度（水平・垂直）の調節ができます
また、オプション部品を使用することによりホールド深さを調節することができます
- 身体各支持部に対応した豊富な種類のサポート金具の組み合わせにより、様々な体格や身体状況に対応することができます
また、側弯、後弯、前弯など身体に高度な変形があるユーザーにも対応します
- 身体の成長や変化、変形の進行に応じて簡単に調節することができます
- 既存の椅子や車椅子などのハンガー部分のあるフレームに汎用的に取付けることができますがハンガー部分のないフレームでもオプション部品を使うことで取付ができるようになります
- 「風の郷3DBS」はフレームから一体として簡単に脱着することができますのでフレームの折りたたみ機能を損なうことはありません

2. ご使用上の注意事項

- 「風の郷3DBS」をご使用になるときは必ずドクターやセラピストの方のご指導のもとにご使用者に合わせて調整した上でご使用ください
- 各支持部のサポート金具の調整につきましては、ご使用者の身体を圧迫したり、呼吸を阻害したりすることのないように十分注意して高さ、幅、角度の調整を行ってください
- 各サポート金具の調整が終わりましたら、ご使用中にサポート金具が緩んで動くことのないように、ボルトやねじ類をしっかりと締めてください
(※ 特にロックねじの六角ナットを締め忘れることのないように注意してください)
- 付属のパッド類やメッシュシートをつけずにサポート金具とスリングシートだけの状態でご使用することがないように注意してください
- ベルト類などご使用者の安全と姿勢保持に必要なその他の部品については、別途用意していただくようお願いいたします
- 座位姿勢の調整は背もたれと座面をトータルに考え調整する必要がありますので「3DBS」だけで姿勢を整えることはできません。ドクターやセラピストのご指導のもとに背座一体で調整してください
- ご使用者の成長や身体の変化、変形の進行などにより姿勢の崩れが見えた場合にはドクターやセラピストの方のご指導のもとに、すみやかに調整してください

④ スリングベルトの張りを調節する

- スリングベルトの後方基準位置は高さ調節支柱の前方約**4センチ**の位置です

骨盤部の仙骨部または胸郭の凸部の位置が高さ調節支柱に近づき過ぎないように注意して下さい（後方の金具に接触する危険性があります！）

- 使用者の予想される矢状面のラインを骨盤部から順番につくってゆく
- だいたいのラインができた段階でスリングベルトが重ならないように注意してセンターシートを貼り直す

⑤ スリングベルトとメッシュカバーの間に大きめの**ビニール袋**をセットする（※ ご使用者の背もたれ全体をカバーする大きさのもの）

⑥ ビニール袋の上にメッシュカバーをかぶせる

※ この時各種**パッド類**ははずしておく！

⑦ ご使用者に座ってもらう

- ご使用者に座ってもらった状態で一度仮締めしたボルト類を緩め、各サポート金具の高さ、幅、角度を再度調節します
- 高さ調節の際、ご使用者の体重がかかっていると長穴に取付けた金具が動きにくい場合がありますのでその際はプラスチックハンマー等を使うと便利です
- 巾調節の際は、まだ取り付けていないパッド類の厚みを考慮して、各サポート金具内側に**2cm**程度の余裕を確保します（※体側に手のひらが入るくらい）
- 体側に沿って垂直方向の角度も調節します（垂直角度調節金具のボルトを緩めて調節します）

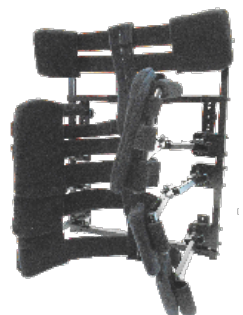
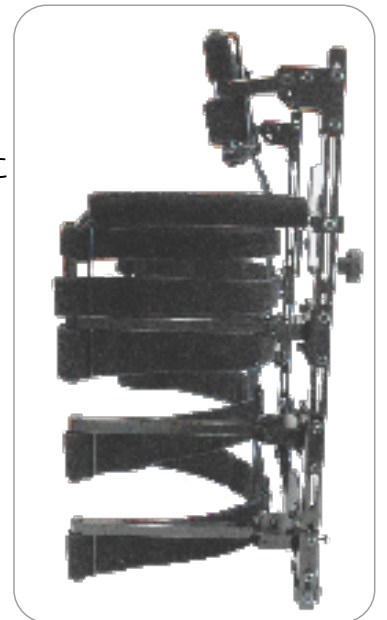
※ 角度調節式延長パイプを使用している箇所は幅を調節した上でサポート金具が体側に平行な状態になるように角度を調節します

- 調節したサポート金具類が動かないようにロックねじやボルト類を締めて固定します
- スリングベルトを骨盤部から上に向かって順番に締めてゆきます

⑧ 各種パッド類を取り付ける

- パッド類はカバーを外して微調整ができるようになっておりますので、必要に応じてクッションの厚み等を調節してください

⑨ 調整が終了したらメッシュカバーの下に入れていたビニール袋を抜き取る

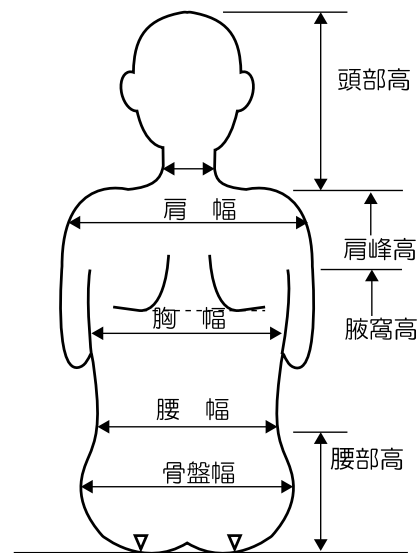


10. 3DBSの調整方法

① 採寸 ご使用者の基本寸法を測る

② 各サポート金具の高さを調節する

- ご使用者が乗っていない状態で、採寸に基づいて各サポート金具の高さを調節する
- 肩甲部**T型**金具は金具の上端が肩峰高に合う位置に取り付ける
- 体幹部**R型**金具は腋窩高の採寸値より**3cm**程度下がった位置にとりつける
- 骨盤部サポート金具**L型**は基本的に支柱の一番下に取り付ける
- 腰部サポート金具**L型**を使用する場合はスリングベルトが腰椎の前弯部にかかる位置で取り付ける



③ 各サポート金具の幅を調節する

〈幅を調節する前の準備〉

- メッシュカバーや各種パッドは外しておく
- スリングベルトはゆるめておく
- 角度調節金具のロックねじの六角ナットを緩める
- 水平角度調節金具のアプセットボルト2ヶ所を緩める
- 角度固定スライド金具のアプセットボルト2ヶ所を緩める

〈幅を調節する〉

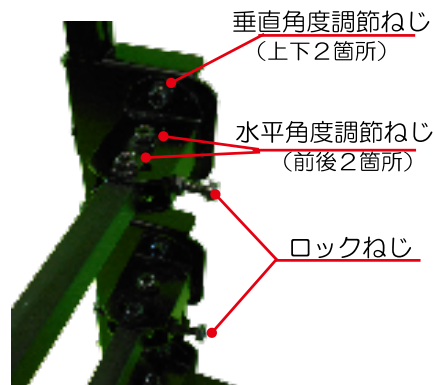
- 各サポート金具内側の左右の間隔を採寸値プラス約**6センチ**に調整する

※ 各パッドの厚み2センチ
+
メッシュカバーの厚み1センチ
×
左右両側

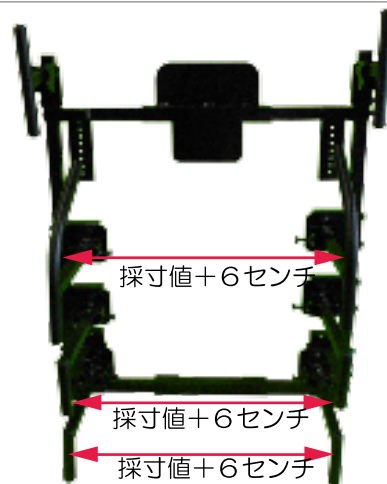
〈調節した幅を仮に固定する〉

- 角度調節金具のロックねじをサポート金具に当たる位置までねじ込む（※ 六角ナットはまだ締めない！）
- 水平角度調節金具のアプセットボルト2ヶ所を仮締めする
- 角度固定スライド金具のアプセットボルト2ヶ所を仮締めする

角度調節式取付金具



角度固定式取付金具















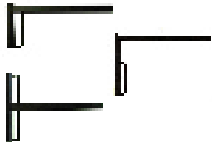






3. 製品構成と各部名称



4. 3DBS部品一覧

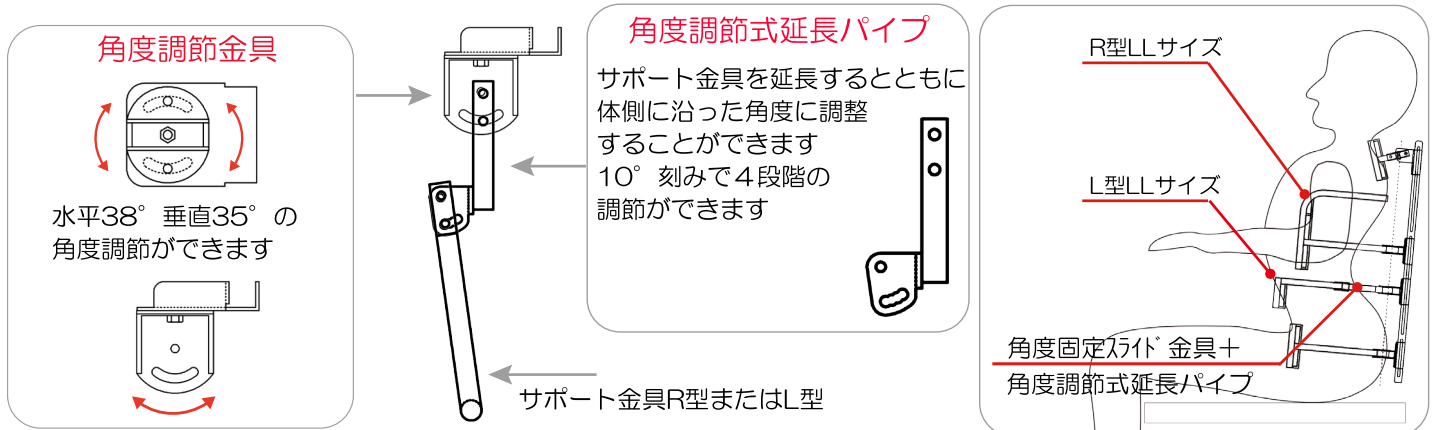
(※梱包を開けた際に部品が揃っているかご確認ください)

部 品 名		Mサイズ セット	Lサイズ セット	LLサイズ セット	部品の特徴
高さ調節支柱		Mサイズ 2	Lサイズ 2	LLサイズ 2	ヘッド金具の取付高さ 高さを調節
幅調節角パイプ (上部・ヘッド受け付)		1	1	1	フレームに合わせて 幅を調節 頸部継手受け金具取付
幅調節角パイプ (下部・ヘッド受け無し)		1	1	1	フレームに合わせて 幅を調節
幅調節角棒 (右仕様)		Mサイズ 2	Lサイズ 2	LLサイズ 2	フレームに合わせて 幅と高さを調節
幅調節角棒 (左仕様)		Mサイズ 2	Lサイズ 2	LLサイズ 2	フレームに合わせて 幅と高さを調節
角度調節金具		合計で 4ヶ	合計で 4ヶ	合計で 6ヶ	ヘッド金具の 水平・垂直角度を調節
角度固定スライド金具					ヘッド金具を 垂直位置で固定 側弯凸側対応金具
角度調節式延長パイプ		2	2	2	ヘッド金具を延長し 水平角度を調節 側弯凹側対応金具
肩甲部取付金具		2	2	2	肩甲部ヘッド金具の 取付と垂直角度調節
入れ子パイプ	52  または 88 	2	2	2	肩甲部ヘッド金具の 長さ調節 52は標準 88は後弯対応金具
肩甲部サポート金具 (T型S)	SS  SL 	2	2	2	
体幹部サポート金具 (R型)		Mサイズ 2	Lサイズ 2	LLサイズ 2	
骨盤部サポート金具 (L型 L型ロック T型)		Mサイズ 2	Lサイズ 2	LLサイズ 2	T型は成長対応金具
腰部サポート金具 (L型)				LLサイズ 2	LLサイズのみ
三穴板ナット		4	4	6	角度調節金具と 角度固定金具の 組み立てに使用
二穴板ナット 18		6	6	8	ヘッド金具と 角度調節金具 角度固定金具の 連結に使用
二穴板ナット 40		6	6	8	角度調節金具 角度固定金具の 高さ調節支柱への 取付に使用

② 高度の前弯がある場合

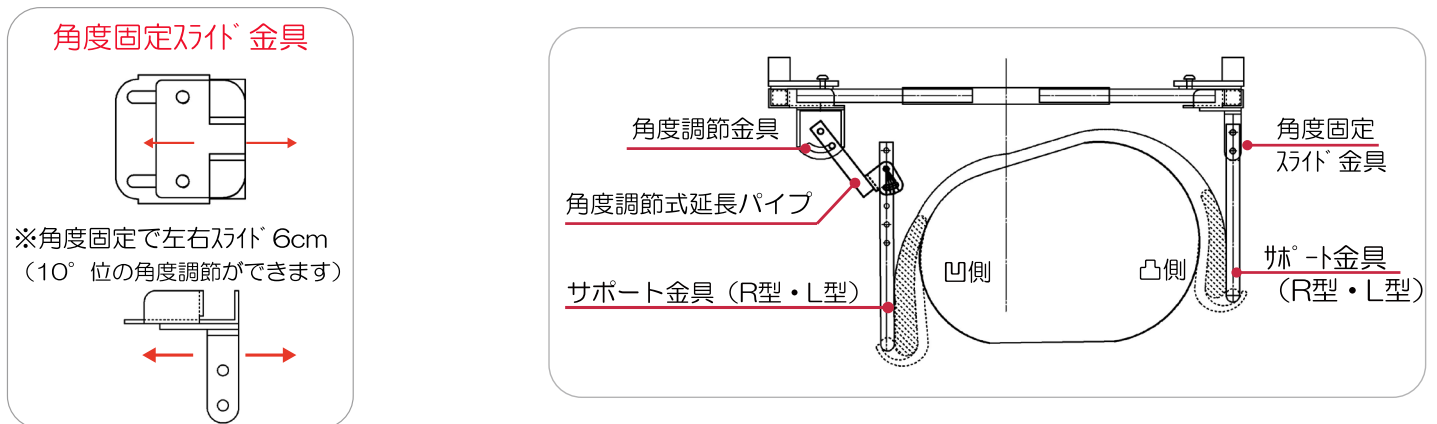
- ・MまたはLサイズで高度な前弯がある場合は体幹部サポート金具**R型**に、LLサイズの場合は**R型金具**と腰部サポート金具**L型**に

角度調節金具+角度調節式延長パイプを取り付けてサポート深さを延長します



③ 高度の側弯がある場合

側弯の凹側と凸側でサポート金具を使い分けます

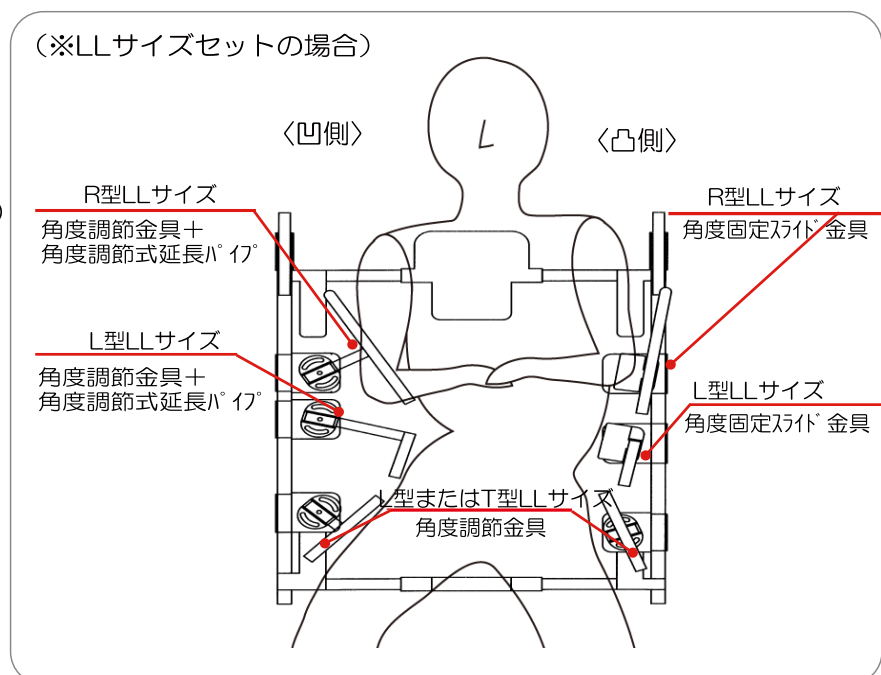


〈凹側の場合〉

- ・体幹部**R型**と腰部**L型**（LLサイズの場合）に**角度調節金具+角度調節式延長パイプ**を取り付けてサポート深さを延長し、体側に沿った角度に設定することで凹側の崩れを防ぎます
- ・骨盤部も**角度調節金具**を使います

〈凸側の場合〉

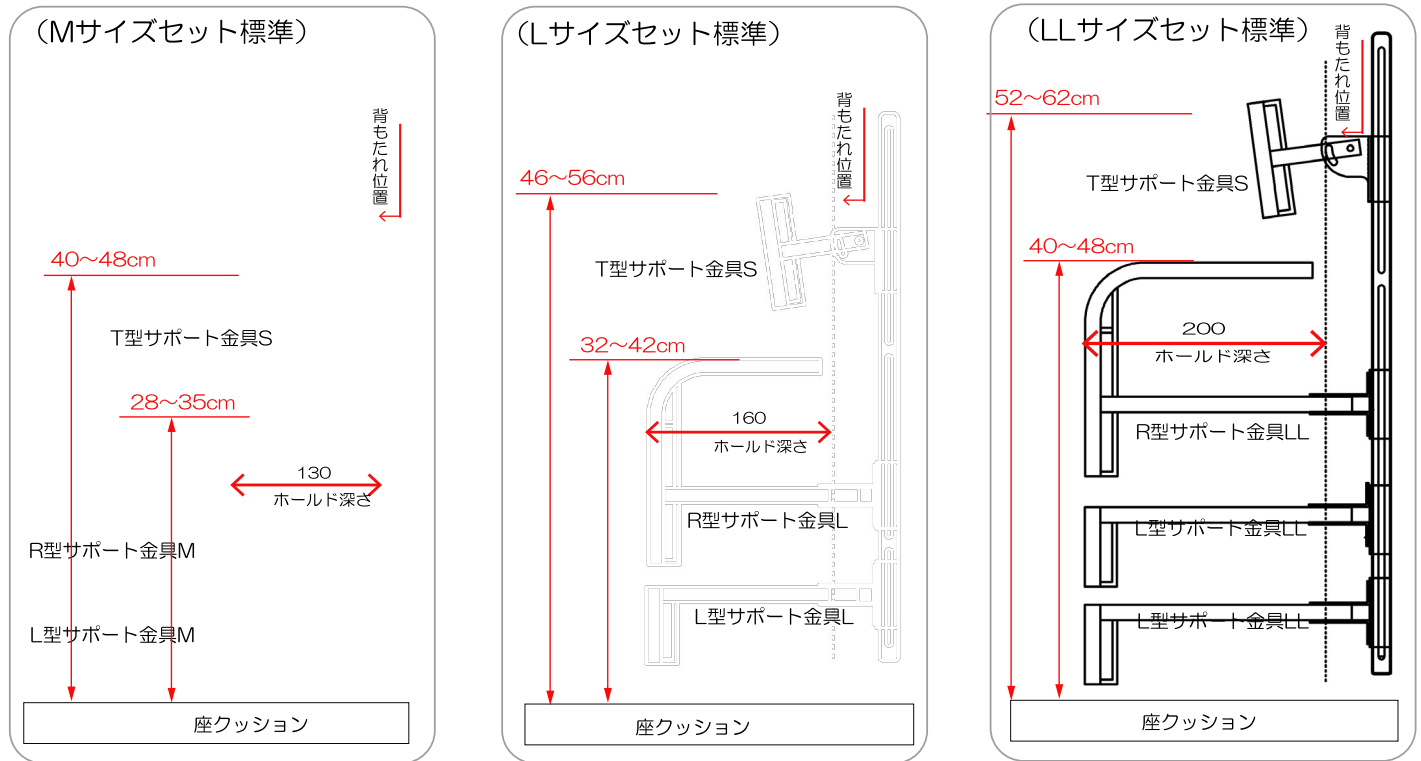
- ・体幹部**R型**と腰部**L型**（LLサイズの場合）の取付金具に**角度調節金具**を使用した場合、金具が身体に当たる可能性があるため**角度固定スライド金具**を使います
- ・骨盤部は**角度調節金具**を使います



9. フレームサイズとサポート金具の選び方

【身体に高度の変形が無い場合】

① 「標準セット」の中で「背高さ」および「腋下高さ」を目安にサイズを選びます

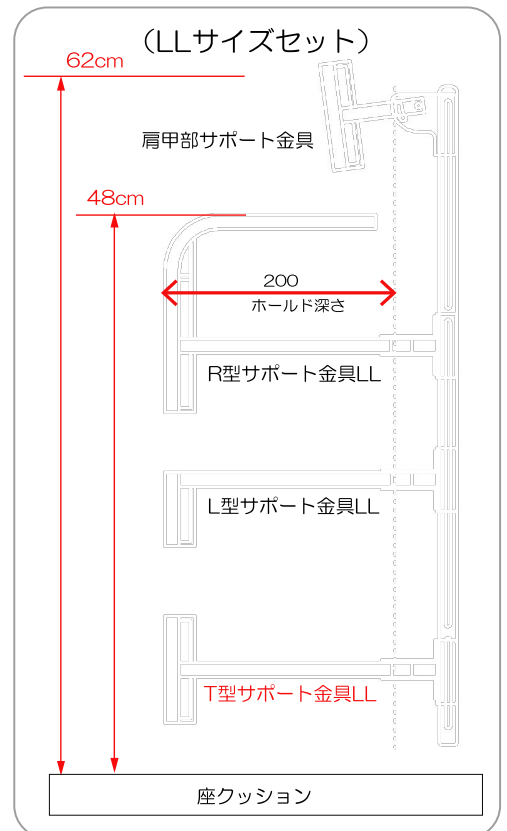
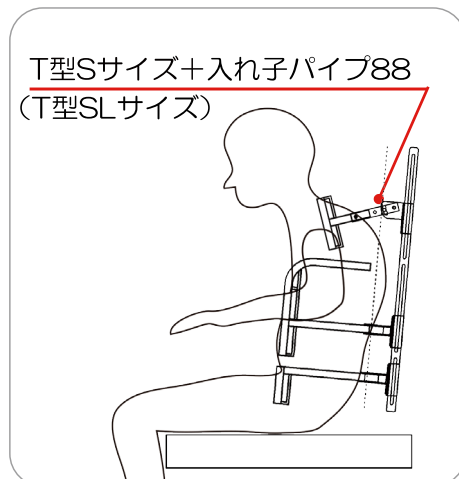













② 「LLサイズ」で「背高さ」が最高の62cmに近い場合は、骨盤部のサポート金具をL型からT型に入れ替えていただくとトータルな支持面が得られます

【身体に高度の変形がある場合】

① 高度の後弯がある場合

- 肩甲骨サポート金具にT型S (またはSL) サイズに長さ調節のできる入れ子パイプ88を取り付けてサポート深さを延長します



部 品 名		Mサイズ セット	Lサイズ セット	LLサイズ セット	部品の特徴
皿ねじ 15		4	4	6	角度調節金具の組立に使用
アプセットボルト 15 (ワッシャー付)		8	8	12	角度調節金具の組立に使用
アプセットボルト 25 (ワッシャー付)		8	8	12	角度調節金具の組立に使用
アプセットボルト 25 (ワッシャー無し・六角ナット付)		4	4	6	角度調節金具のロック用に使用
アプセットボルト 30 (ワッシャー付)		16	16	20	角度調節金具 角度固定金具の 高さ調節支柱への 取付に使用
アプセットボルト 35 (ワッシャー付)		4	4	4	幅調節金具と 高さ調節支柱の連結
六角穴付ボルト 15		2	2	2	幅調節角パイプ（下部） に取付けてルームへ固定
イモねじ		8	8	8	幅調節角パイプ（上下） と幅調節角棒の固定
丸パイプ取付用クランプセット		オプション	オプション	オプション	ハガ一部分の無い 丸パイプのルームへの取付
角パイプ取付用プレート		オプション	オプション	オプション	ハガ一部分の無い 角パイプのルームへの取付
ノブねじ		2	2	2	幅調節角パイプ（上部） に取付けてルームへ固定
肩甲パッド		2	2	2	
体幹パッド		2	2	2	
腰部パッド		無し	無し	2	LLサイズのみ
骨盤パッド		2	2	2	
スリングベルト		1	1	1	
メッシュカバー		1	1	1	
サイドカバー		2	2	2	
パイプカバー		2	2	2	

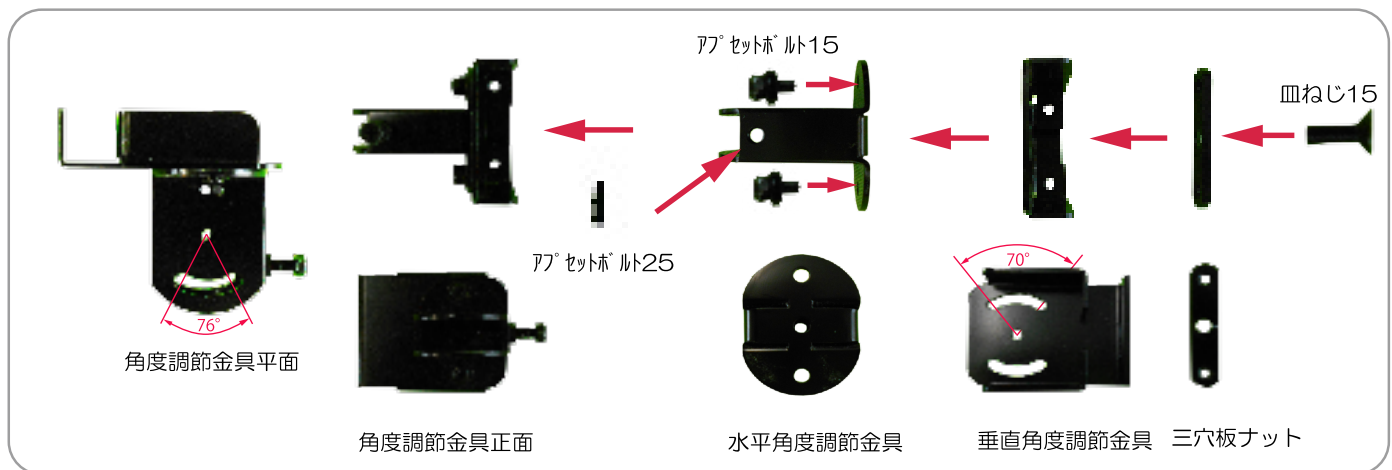
	六角棒レンチ 2.5
	電動ドライバー用ソケットレンチ 8番
	板ラチェットレンチ 8番
	プラスドライバー +2
	ゴムまたはプラスチックハンマー

※ 組み立てと調整用工具としては左記のものが便利です。
アプセットボルトはいろいろな工具が使えて便利ですが、ネジ山が崩れやすいのでレンチを使ったほうがベターです。

5・部品の特徴と組み立て方法

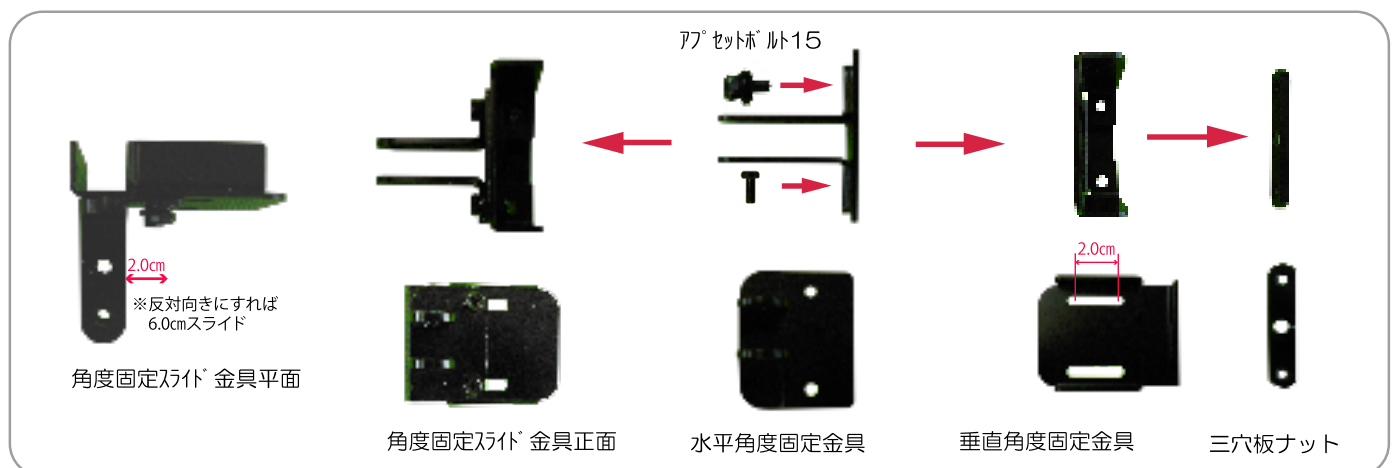
【角度調節金具】 肩甲部以外のサポート金具の標準の取り付けに使用します
 垂直方向で片側35°、水平方向で片側38°の角度調節ができます

- ① 「垂直角度調節金具」と「水平角度調節金具」を組み合わせます
- ② 「三穴板ナット」に「皿ねじ15」を通し、「垂直角度調節金具」の裏側から貫通して「水平角度調節金具」の裏側中心に溶接されたM5Uナットにねじ込む
- ③ 「水平角度調節金具」の表側から上下2箇所穴を通して「三穴板ナット」のM5タップねじ穴に「アプセットボルト15」をねじ込む
- ④ 「水平角度調節金具」の側面内側のM5タップネジ穴に「M5六角ナット」を組み込んだ「アプセットボルト25」をねじ込んで「ロックねじ」とする



【角度固定スライド金具】 高度の側弯がある方の凸側に使用します
 最大で6.0cmのスライド機能と垂直方向10°の角度調節ができます

- ① 「水平角度固定金具」の上下2ヶ所の穴に「アプセットボルト15」2ヶを通す
- ② 「垂直角度固定金具」の上下2ヶ所の長穴を通して「三穴板ナット」のタップねじ穴にアプセットボルト15をねじ込む



【ハンガー部分が無い場合】

- ① 背フレームが丸パイプの場合は、「丸パイプ取付用クランプセット」を背パイプの4ヶ所に取り付けることでハンガー部を増設する（※Φ20 Φ22 Φ25の丸パイプに対応）



- ② 角パイプの場合は貫通穴を開けて「角パイプ取付用プレート」を直接ボルトで固定する



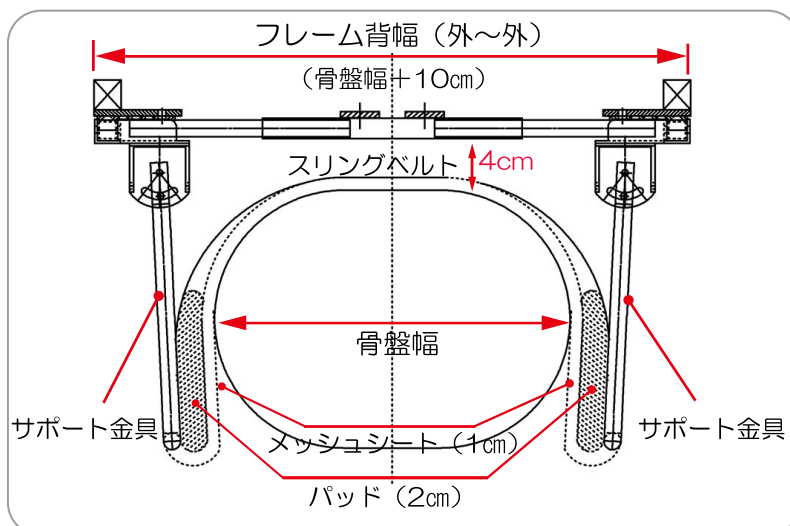
普通型車椅子・簡易型電動車椅子・標準型電動車椅子など



8. フレーム選択の際に注意すること

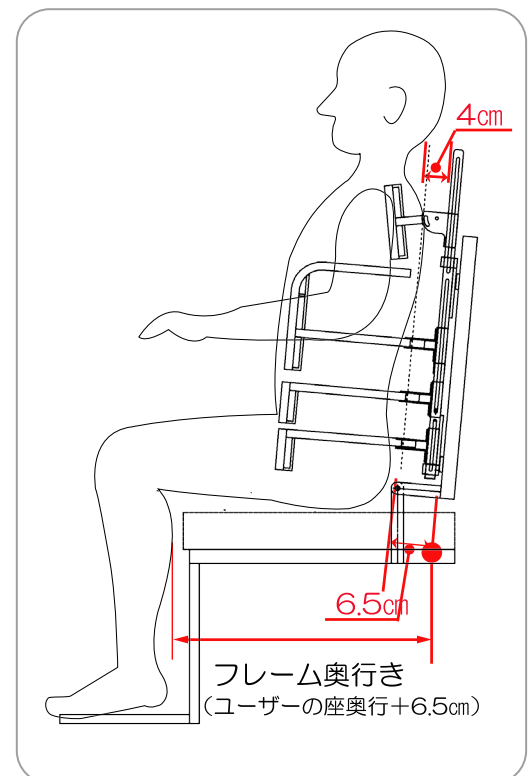
- ① 背幅の選択

フレームの背幅（外～外）を選択するときにはご使用者の**骨盤幅+10cm+成長幅**を目安にしてください



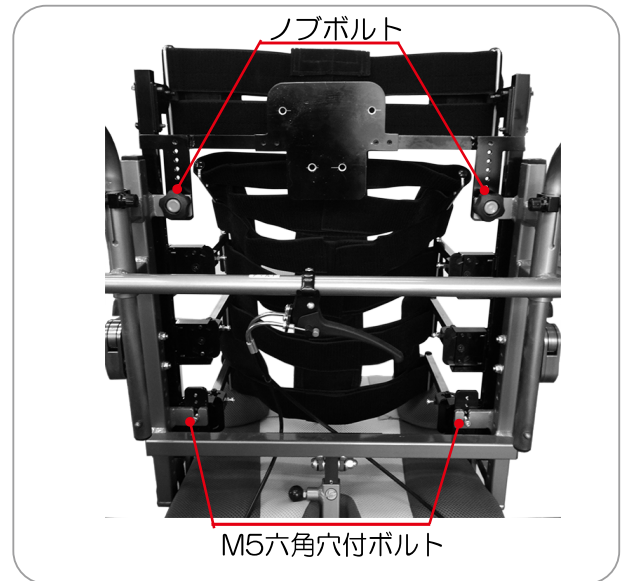
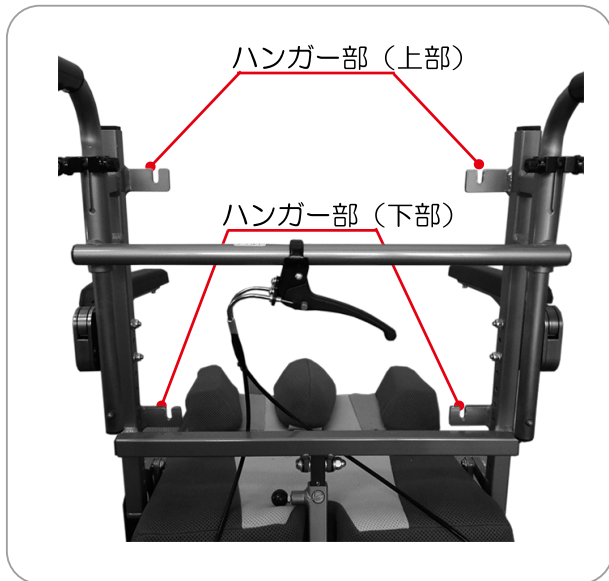
- ② 座奥行きを選択

フレームの座の奥行きを選択するときには使用者の**座奥行き+6.5cm**を目安にして下さい



7. フレームへの取り付け

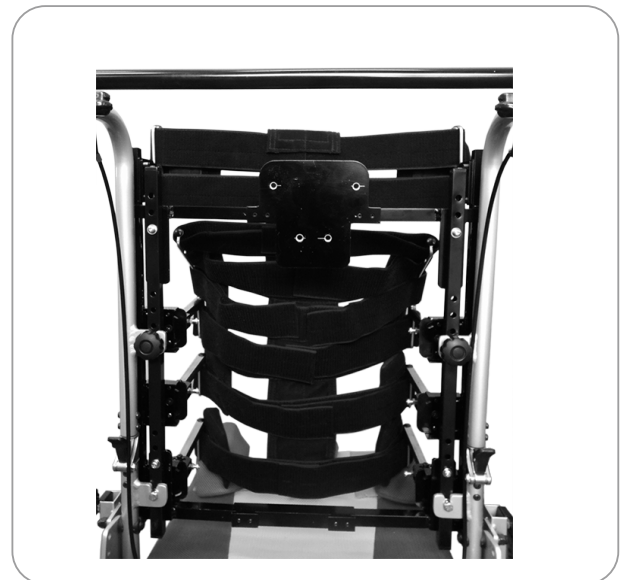
【ハンガー部分がある場合（モールドタイプフレーム）】



- ① 骨盤サポート金具の下端部が、座クッションの上方**4センチから5センチ**の位置にくるように幅調節金具（下部）を取り付ける
 - ・ フレーム下部のハンガー部にM5キャップボルトで取り付ける
 - ・ その際、左右のハンガー部に幅が合うように幅調節金具のイモネジを緩めて調節する
- ② 幅調節金具（上部）がフレーム上部のハンガー部にかかるようにM5ノブボルトで取り付ける
 - ・ その際、左右のハンガー部に幅が合うように幅調節金具のイモネジを緩めて調節する

【ハンガー部分がある場合（高さ調節パイプが付属しているフレーム）】

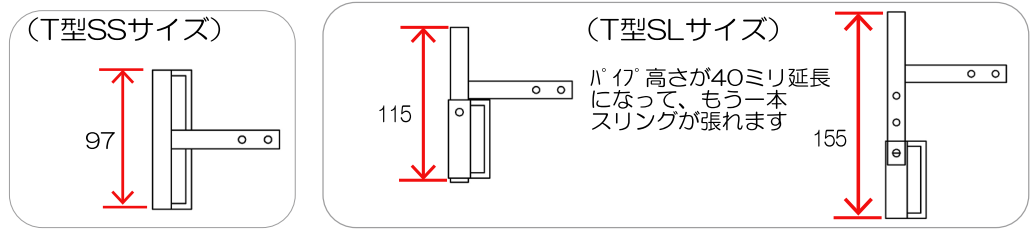
- ① フレームに高さ調節パイプが付属している場合は、骨盤サポート金具の下端部が座クッションの上方**4センチから5センチ**の位置にくるように、高さ調節パイプの穴を使って直接取り付ける



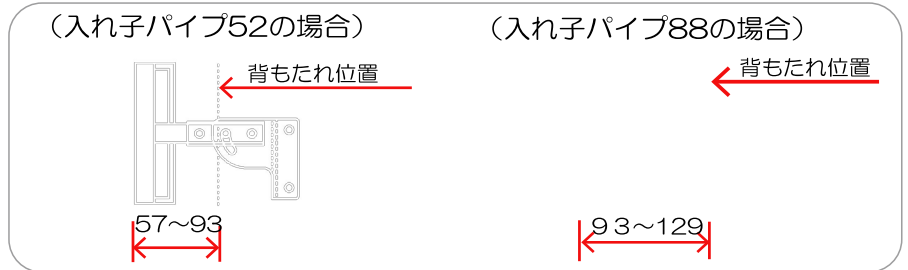
【サポート金具】

① 肩甲部サポート金具

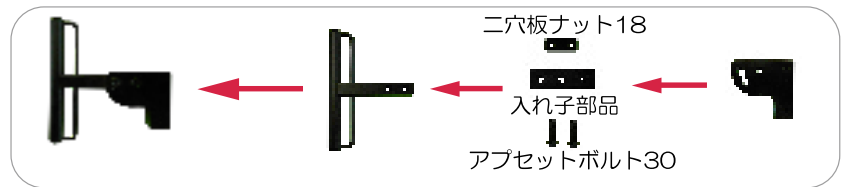
- 体幹部R型金具との間隔に応じてT型SSサイズまたはT型SLサイズを選択します。



- 標準では入れ子パイプ52が付属しますが、後弯のある場合は入れ子パイプ88を選択します

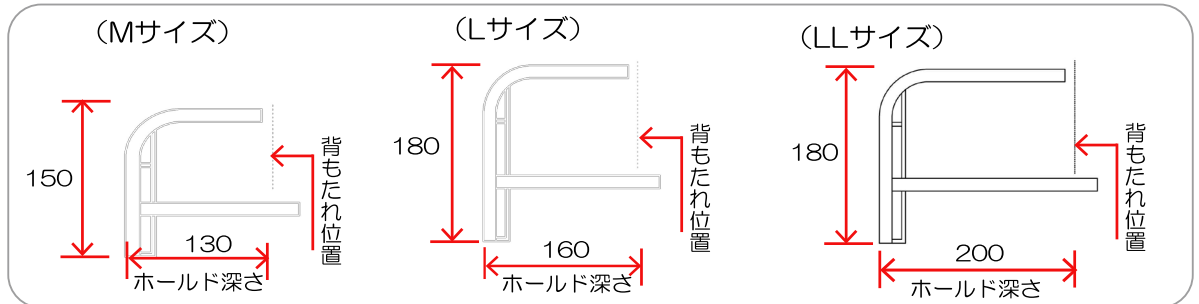


- 肩甲部サポート金具に入れ子部品をかぶせた状態で肩甲部取付金具に差し込み外側からアプセットボルト30を通し、二穴板ナット18のタップねじ穴にねじ込む



② 体幹部サポート金具

体幹部を支持するR型金具です



③ 骨盤部サポート金具

骨盤部を支持するL型またはT型金具です

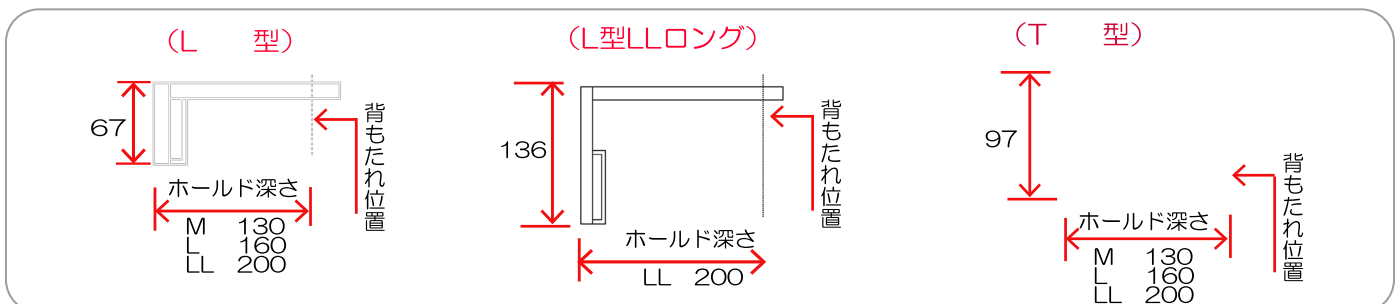
標準ではL型の各サイズを選択しますが

背高さが各サイズの上限に近い場合、または成長に伴って

背高さが上限に近くなった場合はT型を選択します

また背座両面角が大きく開いて座面との間隔が大きく空く場合はL型ロングを選択します

(※現在はLLサイズしかないため長い場合はカットして使用してください)



④ 腰部サポート金具 腰部を支持するL型金具でLLサイズのものに付属します

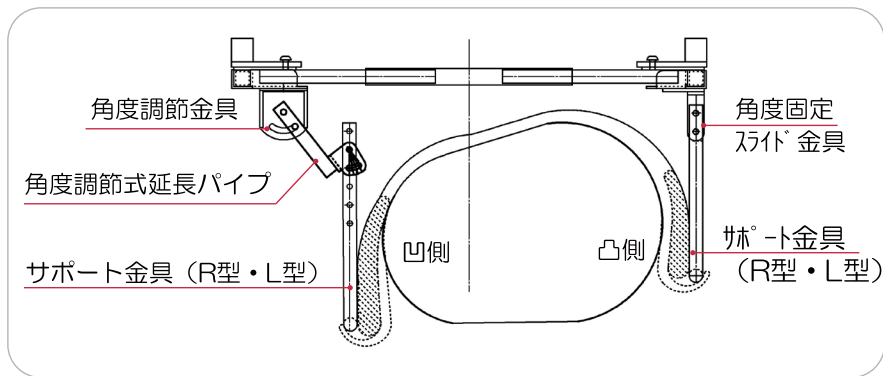
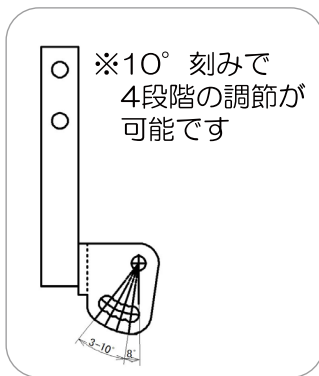
※ 体幹部、腰部、骨盤部のサポート金具の取付は同じです

- 各部サポート金具を「角度調節金具」または「角度固定金具」に差し込む
- 上側から「アプセットボルト25」を通し、「二穴板ナット18」のタップネジ穴にねじ込む



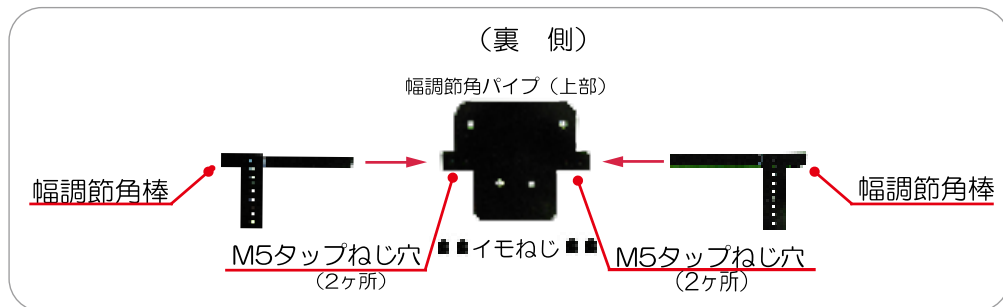
⑤ 角度調節式延長パイプ

側弯がある場合に側弯の凹側に使用します
サポート金具を延長し体側に沿った角度に設定することで
凹側の崩れを防ぎます

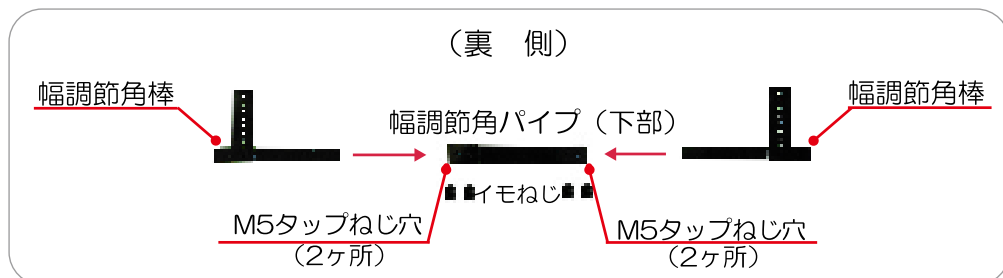


【幅調節金具】 フレームの幅に合わせてシステム全体を固定する金具です

- ① 幅調節角パイプ（上部・ヘッド受け付き）に使用する頸部継ぎ手の受け金具取り付けするための穴加工をする
- ② 幅調節角パイプ（上部・ヘッド受け付き）に幅調節角棒（左右）を下向きの形で差し込んでM5タップねじ穴4ヶ所をイモねじで仮締めする



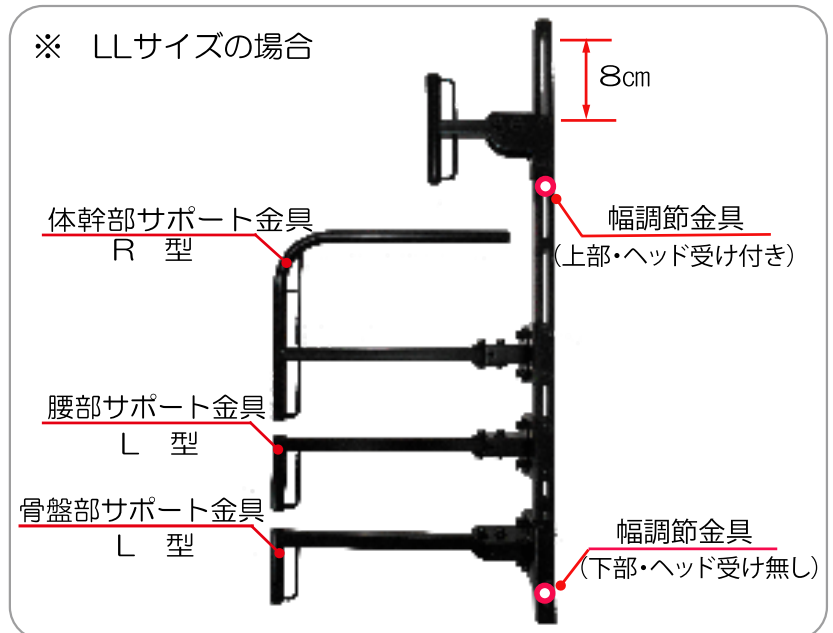
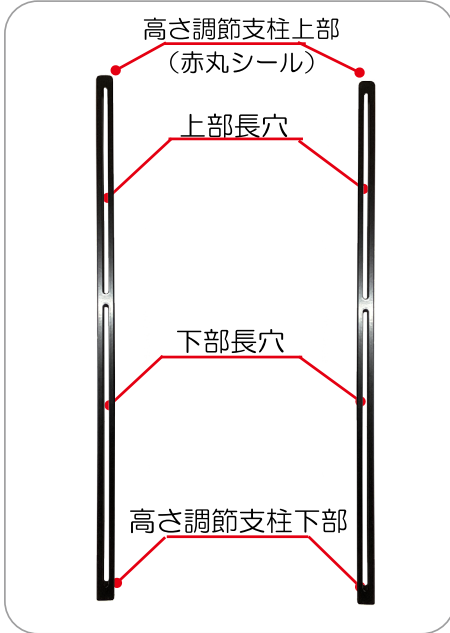
- ③ 幅調節角パイプ（下部・ヘッド受け無し）に幅調節角棒（左右）を上向きの形で差し込んでM5タップねじ穴4ヶ所をイモねじで仮締めする



6. システム全体の組み立て方法

- ① 各サポート金具を角度調節金具、角度固定金具、肩甲部取付金具に連結する
- ② 高さ調節支柱の上下の長穴に各サポート金具を大体の位置で仮に取り付ける

※ 各サポート金具に「二穴板ナット40」1ケと「アプセットボルト30」2ケを使用する
ボルトは仮止めとして締め付けない



- 肩甲部サポート金具T型は支柱の「上部長穴」の上から8cm下がった位置に取り付ける
(※取付用ボルト2本のうち、上の「アプセットボルト30」が成長に応じて8cm上げられる位置)
 - 体幹部サポート金具R型は「下部長穴」の中央部に取り付ける
 - 骨盤部サポート金具L型は「下部長穴」の下方に取り付ける
 - LLサイズで腰部サポート金具L型を取り付ける場合は、「下部長穴」の体幹サポート金具の下方に取り付ける
- ③ 各種サポート金具が組み込まれた左右の「高さ調節支柱」を上下の幅調節金具で連結する

※ 「アプセットボルト35」を高さ調節支柱の長穴を通して、幅調節用角棒の側端面のM5タップねじ穴にねじ込んで締結する

- 「幅調節金具 (上部・ヘッド受け付き)」は上部長穴の「肩甲部サポート金具」の直下に取り付ける
- 「幅調節金具 (下部・ヘッド受け無し)」は高さ調節支柱の最下端に取り付ける

